

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 21 日 (2020.5.21)

【公開番号】特開 2019-136072 (P2019-136072A)

【公開日】令和 1 年 8 月 22 日 (2019.8.22)

【年通号数】公開・登録公報 2019-034

【出願番号】特願 2018-19085 (P2018-19085)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 7 日 (2020.4.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

判定を行う判定手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて特典を付与しうる特典付与手段と、

遊技者による操作を受ける操作受け部が設けられた操作手段と、

操作機会が付与される受付許容期間を発生可能であり、該受付許容期間において操作受付されると受付後演出を生じさせる受付期間発生手段と、

前記受付許容期間において、操作機会が付与される対象である操作受け部を摸した摸画像表示を表示可能な摸画像表示手段と

を備え、

前記受付許容期間の発生に際しては、操作受付が許容される状態になったこと、または操作受付が許容される状態になることを示唆する受付許容音が可聴出力されうるようになっており、

前記受付許容音の態様として、少なくとも所定態様及び特定態様が含まれており、

前記受付許容期間には、前記受付許容音が前記特定態様で可聴出力されることがなく前記所定態様で可聴出力されうる所定受付許容期間と、前記受付許容音が前記特定態様で可聴出力されうる特定受付許容期間とが含まれており、

前記受付許容音が前記特定態様で可聴出力されることがなく前記所定態様で可聴出力されうる所定受付許容期間には、少なくとも第 1 所定受付許容期間及び第 2 所定受付許容期間がさらに含まれており、

前記特定受付許容期間で操作受付がなされたときには、該特定受付許容期間が発生するよりも前に非可聴の状態にされた B G M が該非可聴の状態を維持しているなかで当該特定受付許容期間に対応する受付後演出を生じさせ、

前記所定受付許容期間のうち前記第 1 所定受付許容期間で操作受付がなされたときには、該第 1 所定受付許容期間内において可聴出力されている状態にあった B G M が継続して可聴出力されているなかで当該第 1 所定受付許容期間に対応する受付後演出を生じさせるが、前記所定受付許容期間のうち前記第 2 所定受付許容期間で操作受付がなされたときには、該第 2 所定受付許容期間内において可聴出力されている状態にあった B G M を非可聴の状態にし、該 B G M が非可聴の状態であるなかで当該第 2 所定受付許容期間に対応する受付後演出を生じさせるようになっており、

さらに、

前記受付期間発生手段は、遊技者による演出設定ではなく、前記判定手段による判定の結果に基づいて、

遊技者による操作によって前記操作受付がなされた場合、該操作受付がなされたことに基づいて受付後演出を発生させ、該操作受付がなくても該操作受付がなされたときと同じ受付後演出を発生させるように、遊技者に対して操作機会を付与する自動受付許容期間として前記受付許容期間を発生させる場合と、

遊技者による操作によって前記操作受付がなされた場合、該操作受付がなされたことに基づいて受付後演出を発生させ、該操作受付がなされない場合、該操作受付がなされたときと同じ受付後演出を発生させないように、遊技者に対して操作機会を付与する非自動受付許容期間として前記受付許容期間を発生させる場合とがあり、

さらに、

前記受付許容期間が発生することを示唆する前兆演出表示として第1前兆演出表示が実行される場合と第2前兆演出表示が実行される場合とが少なくともあり、

前記第1前兆演出表示が表示された場合は、該第1前兆演出表示に対応する前記受付許容期間として前記非自動受付許容期間が発生することはなく前記自動受付許容期間が必ず発生するが、前記第2前兆演出表示が表示された場合は、該第2前兆演出表示に対応する前記受付許容期間として前記自動受付許容期間が発生する場合と前記非自動受付許容期間が発生する場合との両方があるようになっており、

さらに、

前記操作手段は、少なくとも第1態様及び第2態様を含む複数態様のいずれかで発光可能であり、

遊技者に対して操作機会が付与されているときに前記操作手段が前記第1態様で発光している場合は、前記非自動受付許容期間が発生している状況下にあることはなく前記自動受付許容期間が必ず発生している状況下にある場合と前記第2態様で発光している場合は、前記自動受付許容期間が発生している状況下にある場合と前記非自動受付許容期間が発生している状況下にある場合との両方がある

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような従来の遊技機では、遊技興趣が低下することが懸念される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段1：判定を行う判定手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて特典を付与しうる特典付与手段と、

遊技者による操作を受ける操作受け部が設けられた操作手段と、

操作機会が付与される受付許容期間を発生可能であり、該受付許容期間において操作受付されると受付後演出を生じさせる受付期間発生手段と、

前記受付許容期間において、操作機会が付与される対象である操作受け部を摸した摸画像表示を表示可能な摸画像表示手段と

を備え、

前記受付許容期間の発生に際しては、操作受付が許容される状態になったこと、または操作受付が許容される状態になることを示唆する受付許容音が可聴出力されうようにな
っており、

前記受付許容音の態様として、少なくとも所定態様及び特定態様が含まれており、

前記受付許容期間には、前記受付許容音が前記特定態様で可聴出力されることがなく前
記所定態様で可聴出力されうる所定受付許容期間と、前記受付許容音が前記特定態様で可
聴出力されうる特定受付許容期間とが含まれており、

前記受付許容音が前記特定態様で可聴出力されることがなく前記所定態様で可聴出力さ
れうる所定受付許容期間には、少なくとも第 1 所定受付許容期間及び第 2 所定受付許容期
間とがさらに含まれており、

前記特定受付許容期間で操作受付がなされたときには、該特定受付許容期間が発生する
よりも前に非可聴の状態にされた B G M が該非可聴の状態を維持しているなかで当該特定
受付許容期間に対応する受付後演出を生じさせ、

前記所定受付許容期間のうち前記第 1 所定受付許容期間で操作受付がなされたときには
、該第 1 所定受付許容期間内において可聴出力されている状態にあった B G M が継続して
可聴出力されているなかで当該第 1 所定受付許容期間に対応する受付後演出を生じさせる
が、前記所定受付許容期間のうち前記第 2 所定受付許容期間で操作受付がなされたとき
には、該第 2 所定受付許容期間内において可聴出力されている状態にあった B G M を非可聴
の状態にし、該 B G M が非可聴の状態である当該第 2 所定受付許容期間に対応する受付後演出
を生じさせるようにな
っており、

さらに、

前記受付期間発生手段は、遊技者による演出設定ではなく、前記判定手段による判定の
結果に基づいて、

遊技者による操作によって前記操作受付がなされた場合、該操作受付がなされたことに
基づいて受付後演出を発生させ、該操作受付がなくとも該操作受付がなされたときと同じ
受付後演出を発生させるように、遊技者に対して操作機会を付与する自動受付許容期間と
して前記受付許容期間を発生させる場合と、

遊技者による操作によって前記操作受付がなされた場合、該操作受付がなされたことに
基づいて受付後演出を発生させ、該操作受付がなされない場合、該操作受付がなされたとき
と同じ受付後演出を発生させないように、遊技者に対して操作機会を付与する非自動受
付許容期間として前記受付許容期間を発生させる場合とがあり、

さらに、

前記受付許容期間が発生することを示唆する前兆演出表示として第 1 前兆演出表示が実
行される場合と第 2 前兆演出表示が実行される場合とが少なくともあり、

前記第 1 前兆演出表示が表示された場合は、該第 1 前兆演出表示に対応する前記受付許
容期間として前記非自動受付許容期間が発生することはなく前記自動受付許容期間が必ず
発生するが、前記第 2 前兆演出表示が表示された場合は、該第 2 前兆演出表示に対応する
前記受付許容期間として前記自動受付許容期間が発生する場合と前記非自動受付許容期間
が発生する場合との両方があるようにな
っており、

さらに、

前記操作手段は、少なくとも第 1 態様及び第 2 態様を含む複数態様のいずれかで発光可
能であり、

遊技者に対して操作機会が付与されているときに前記操作手段が前記第 1 態様で発光し
ている場合は、前記非自動受付許容期間が発生している状況下にあることはなく前記自動
受付許容期間が必ず発生している状況下にある、遊技者に対して操作機会が付与されてい
るときに前記操作手段が前記第 2 態様で発光している場合は、前記自動受付許容期間が発
生している状況下にある場合と前記非自動受付許容期間が発生している状況下にある場合
との両方がある

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0008
【補正方法】削除
【補正の内容】